

●十和田八幡平国立公園●

北八甲田
自然観察マップTowada-Hachimantai National Park
The Nature Guide of Kita-hakkoda

下毛無岱

監修:環境省 東北地方環境事務所 十和田自然保護官事務所
発行:八甲田地区パークボランティア連絡会※この自然観察マップは環境事業団 地球環境基金助成により
制作されたものです。

北八甲田のあらまし

ここ北八甲田は、昭和11年に国立公園に指定された、十和田八幡平国立公園の一部です。広大な湿原や沼、火山地形、渓流、山地帯から高山帯までの様々なタイプの森林、温泉などが点在しており、北日本を代表する自然と美しい風景を有しています。その風景は季節により、天候により、また、時間帯によって様々な表情に変化し、訪れる人々を楽しませてくれます。

是非このマップを片手に、北八甲田のいろいろな表情を見つけてみて下さい。

国立公園は、このような日本の代表的な風景を守りながら、みなさんに楽しんでいただくためのものです。

自然の中で3つのマナー

●植物を取らないようにしましょう

きれいな花は自然の中でみんなで楽しみましょう。

●ゴミを捨てないようにしましょう

見つけたらあなたが拾うぐらいの心で。ゴミは必ず持ち帰りましょう。

●道からはずれないようにしましょう

湿原や山の草花は、踏みつけられることに弱く、人が歩いた後はその周囲の植物までもが変わってしまうこともよくあるのです。

※八甲田山一帯は山岳地帯です。歩いて行動するときは、天候の急変や疲労に対応するために、しっかりした装備、余裕のある予定で行動しましょう。

※この観察マップは
環境にやさしい紙を使用しております。

★お問い合わせ

八甲田地区パークボランティア
連絡会事務局（阿部方）
TEL 017-741-8068

地球環境基金

●爆裂火口

赤倉岳、井戸岳、大岳などの山頂付近には爆発で山体の一部が吹き飛ばされた火口の跡が見られます。赤倉岳山頂部の赤い岩壁は火口壁の一部で、爆発の激しさを物語っています。また、井戸岳の火口は直径200m、深さ80mに達しています。

●八甲田の動物たち

八甲田山には、山の麓を中心に様々な野生生物が生息しています。ウサギ、ニホンカモシカ、タヌキ、リス、テン、オコジョなど様々な哺乳動物がいます。

沢にはイワナなどの魚類が、また鏡沼などの水辺ではクロサンショウウオや木に産卵するモリアオガエルなどの両生類を見ることができます。

●紅葉の仕組み

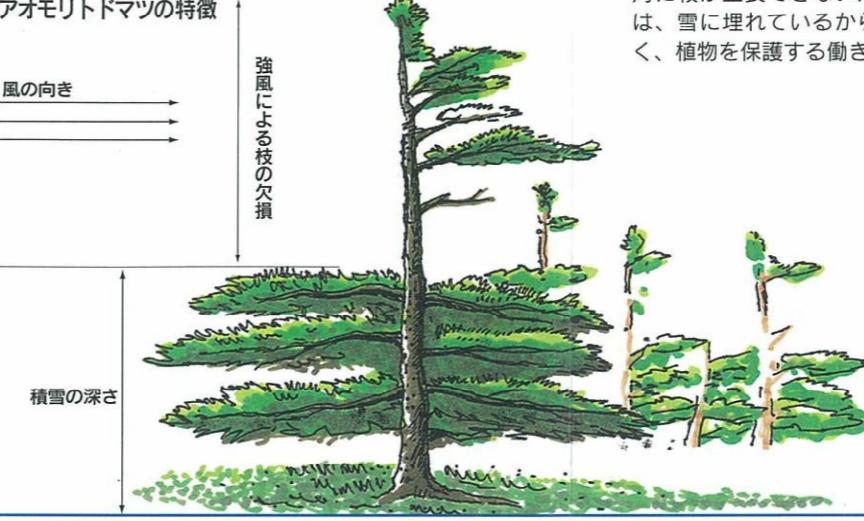
秋になると八甲田は昼夜の温度差が大きいため鮮やかな紅葉が見られます。赤く紅葉するのはナナカマド、ヤマウルシ、ツタウルシなどで、黄色に色づくのはブナ、ダケカンバ、ミネカエデなどです。



●ダケカンバ

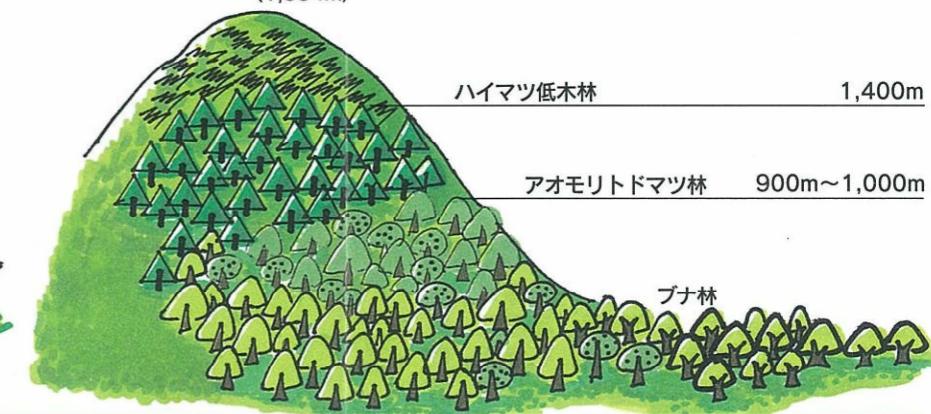
シラカバに似ていますが、幹は少し赤っぽい色をしています。斜面が急で土砂崩れ、雪崩などが起こりやすい所や、硫気でのた所などで見ることができます。ダケカンバは山火事や土砂崩れなどで一度木のなくなつた明るい所に真先に生えてきますが、後からゆっくりと成長してきたアオモリトドマツといわれかわり、なくなっています。

アオモリトドマツの特徴



●アオモリトドマツ

アオモリトドマツは、オオシラビソともいわれ、青森県が北限の生育地です。濃い緑の針葉樹で、八甲田山では冬になると有名な樹氷になります。樹氷は氷点下に冷やされた空気中の水蒸気が、木に触れたときに凍りつき、雪とともに発達してできます。アオモリトドマツをよく見てみると、場所によつては片側の枝だけがよく伸びているものがあるのに気がつきます。冬の間強風にさらされる北西の方角に枝が生長できないためです。下の方が正常なのは、雪に埋れているからで、冬は雪の中の方が暖かく、植物を保護する働きをしています。

八甲田大岳
(1,584m)八甲田大岳
(1,584m)ハイマツ低木林
1,400mアオモリトドマツ林
900m~1,000m

ブナ林

●ブナ

木の肌にまだらの模様がありますが、これはコケや地衣類がついているためです。

ブナの林は、雨によって川が急に増水しないよう調節する保水機能や、多くの動植物を育む豊かな環境を有しています。

山麓には青森市の浄水場があり、日本一おいしい水を供給しています。

●標高で植物が変わる(植物の垂直分布)

大岳に登つてみると、だんだんとブナ林からアオモリトドマツの林、そして次第に背の低いハイマツの林にと変わっていくのがわかります。

●食虫植物

湿原には、虫から栄養を取る食虫植物が生育しています。気温の低い八甲田は、枯れた植物などが分解されにくく栄養が乏しいのです。そこでモウセンゴケやムシトリスミレという植物は粘液を出して虫を捕らえ、養分を補給しているのです。

●雪田

雪田というのは、雪が吹き溜まり、遅くまで残っているところです。雪が解けると、ヒナザクラ、イワイチョウ、チングルマなどの花が次々に咲き短期間で実を結びます。

